

豊橋技術科学大学リサーチ・アドミニストレーター (URA) 公募

豊橋技術科学大学の研究推進アドミニストレーションセンター (RAC : Research Administration Center) では、URA を中心に、研究力強化・産学連携を推進していますが、文部科学省「経営改革促進事業」の支援対象機関に新たに採択されたことを受けて、本センターにおける業務の強化のため、URA を募集します。

(参考) 豊橋技術科学大学研究推進アドミニストレーションセンター : <http://rac.tut.ac.jp/>

募集人員 リサーチ・アドミニストレーター (URA) 1名

所属 研究推進アドミニストレーションセンター

職務内容 本センターの業務内容のうち、主として研究戦略、産学官連携推進の業務を分担・協力して実施します。

本センターの業務は、別紙「研究推進アドミニストレーションセンターの業務内容」を参照して下さい。

応募資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 博士学位取得者又は修士学位取得者又はこれと同等と認められる者
- (2) 大学・研究機関等 (企業を含む) で研究又は研究支援に係る業務経験を有する者

※ 本学は、男女共同参画の視点から、女性の採用を積極的に推進しています。

採用予定時期 2021年7月1日 以降のなるべく早い時期に採用します。

待遇

- (1) 給与 : 採用時における本学特定職員就業規則による
- (2) 諸手当 : 扶養手当, 住居手当, 通勤手当, 単身赴任手当等 ※要件を確認のうえ支給
- (3) 勤務時間 : 8 : 30 - 17 : 15 (休憩 : 12 : 00 ~ 13 : 00)
- (4) 休日 : 土曜日, 日曜日, 祝日, 年末年始, 夏季休日
- (5) 保険 : (短期) 文部科学省共済組合保険, (長期) 厚生年金保険

勤務形態 常勤 (任期あり)

任期 : 5年 (審査により1回限り再任の可能性あり)

提出書類

- (1) 履歴書 (市販用紙で可, 写真貼付, 連絡先電話番号, メールアドレス明記)
- (2) 研究支援等に係る業務・業績リスト (書式自由 : A4版で4枚以内, 片面印刷)
(研究・開発プロジェクトの企画・運営・広報等の具体的な従事内容, 国際業務の具体的な従事内容, 知財業務, 特許, アウトリーチ活動の他必要に応じて, 著書, 査読付学術論文, 国際会議論文, 総説・解説等, URAに関連すると思われるもの, その他アピールする事項)
- (3) 職務に対する抱負 (書式自由 : A4版で1枚, 1,500字程度)
- (4) 本人について意見をうかがえる方2名の氏名と連絡先
(書式自由 : A4版, 住所, 所属, 電話番号, メールアドレス)

※ なお, 選考状況により別途書類の提出を求めることがある。

選考方法

(1) 書類審査

(2) 面接：書類審査により適格とされた応募者に対し個別に連絡した後、実施します。

※選考結果に関する個別の問合せには応じない。

応募締切 2021年3月31日(水) 必着

※随時、選考を行い、候補者決定次第応募を締め切ります。

書類送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター事務室 宛

※ 応募の際の封筒には、「URA 応募書類在中」と朱書きし、書留で郵送してください。

問い合わせ先 同上

Tel: 0532-44-1561 E-mail: office@rac.tut.ac.jp

その他

(1) 応募書類は返却しません(返却を希望される場合：返信用の封筒(切手あるいは着払いの伝票が添付されたもの)を同封して下さい。)

(2) 個人情報保護法に基づき、応募書類に含まれる個人情報は本選考の用途以外には使用しません。

(3) 面接等、来学に関わる費用は応募者の自己負担となります。

(4) 選考結果は、審査終了次第、本人宛に通知します。

「研究推進アドミニストレーションセンターの業務内容」

【研究戦略室】

○国内外の学術研究動向・科学技術政策，社会のニーズ，学内の研究ポテンシャル等を分析し，全学的な研究戦略案を策定し，研究戦略企画会議に提案する。また，URAの継続的な育成のためのプログラムを策定し実施する。

- ◆ 国内外の学術研究動向調査・分析： グローバルな学術研究動向，特に融合研究の動向を収集し調査，分析する。
- ◆ 国内外の科学技術政策調査・分析： 国の科学技術政策を把握し，競争的資金の公募情報を収集し分析する。海外諸国の政策調査も行う。
- ◆ 社会ニーズ調査・分析： 社会や産業界のニーズに関する情報を収集し調査，分析する。
- ◆ 学内研究力調査・分析： 学内の研究ポテンシャルを定量的に評価し，強みと弱みを分析する。
- ◆ 研究力強化戦略案策定： 分析結果を踏まえて，社会ニーズに即した全学的な研究戦略案を策定し，研究戦略企画会議に提案する。
- ◆ URAの人材育成： URAの継続的な人材育成のための育成プログラムを作成し，実施する。

【産学官連携推進室】

○大学として推進すべき国内外のプロジェクト等に対して，競争的資金獲得までの支援（プレ・アワード支援）および獲得後の支援（ポスト・アワード支援）等を行う。

- ◆ プレ・アワード支援： 構想企画，体制整備，経費見積り，申請書作成等を支援する。
- ◆ ポスト・アワード支援： プロジェクトの進捗管理，財務管理，知財戦略，成果発表（アウトリーチ活動を含む）等に関する支援を行う（知財戦略に関しては知財管理室と連携する）。
- ◆ 産学連携支援： プロジェクトの成果の活用を促進し，継続的な外部資金獲得を行うためのグローバルな産学連携活動や技術移転活動等を推進する。

○知財の創出から権利化・活用までの総合的な支援と，知財に関する産学連携活動の支援を行う。国際特許・国際法務を専門に担当する職員を配置して，特許業務や契約業務のグローバル化に対応できる体制とする。

- ◆ 発明創出支援： 国際対応も含めた発明創出の支援（特許調査，明細書作成支援，特許戦略の提案，ポートフォリオ作成等）を行い，知財の創出を促進する。
- ◆ 知財権利化支援： 国内外の知財権利化のための出願申請，中間処理（特許の審査請求，拒絶応答等），登録後の維持管理等に関する支援を行う。
- ◆ 産学連携支援： 国内外の産学連携活動に伴う契約（共同出願契約，共同研究契約，ライセンス契約等）の支援を行う。
- ◆ 情報公開システム構築： 知財リポジトリシステムを構築し，管理・運用する。
- ◆ コンプライアンス管理： 海外を含めた法務・倫理等のコンプライアンスに関する啓発と管理を行う。

【技術科学支援室】

○異分野融合研究を支援するため，学内の共同利用機器を集中管理し，高度な技術を持つ専任教員や専門職員を配置する。このような技術科学面における支援機能は，学部・大学院教育とも連携する。

- ◆ 設備活用支援： 高度共同利用機器等の有効利用を支援するシステムを構築し，運用する。
- ◆ 融合研究支援： 異分野融合プロジェクトを管理し，設備・機器の適切な運用と整備計画を策定し，実施する。また，エレクトロニクス先端融合研究所および LSI 工場の設備・機器を管理し，その利用を支援する。
- ◆ 分析機器支援： 3次元透過電子顕微鏡など高度分析機器による分析・解析を，専任教員を充てるなどして重点的に支援する。
- ◆ 工作支援： マシニングセンタやガスレーザー加工機等，各種工作機器を用いて，加工・実験部品製作に関した支援を行う。
- ◆ 情報メディア支援： 高速計算システムによるコンピューティング，ネットワーク環境構築・管理，ウェブ等による情報発信を支援する。

【産学官連携リスクマネジメント室】

○産学官連携活動の円滑な推進に向けて，共同研究に係る利益相反，秘密情報管理及び安全保障輸出管理のマネジメントを行う。

- ◆ 利益相反マネジメント： 共同研究等の産学連携に携わる教員と民間企業との関係性を評価し，利益相反状態の発生を未然に防止する。必要に応じて利益相反審査会を開催する。
- ◆ 秘密情報管理マネジメント： 産学連携に伴って，企業等から提供される秘密情報，学内の未発表研究成果等の秘密情報の管理を徹底することで流出を未然に防止する。必要に応じて秘密情報管理審査会を開催する。
- ◆ 安全保障輸出管理マネジメント： 国境を跨ぐ人（教職員・留学生等），モノ（成果有体物等），情報（研究成果等）の外為法の適合性を管理する。必要に応じて安全保障輸出管理審査会を開催する。
- ◆ 産学官連携に伴って発生するリスク全般を事前に予測し，未然防止に努める。